

COSMORAMA

2003 October

68



名古屋学院大学全景 (2003年9月撮影)



Culture & Human Resources

NAGOYA GAKUIN UNIVERSITY



Interview

CCS座談会

名古屋学院大学の キャンパスコミュニケーションシステム について

～利用者(学生・教員・事務局)が語るCCSのすべて～

司会 CCSの管理をしています事務局システム課の加藤です。CCSの企画・立案をしました。昨年の4月からCCSを立ち上

安藤 外国語学部中国語学科1年の安藤です。樋口先生がクラスアドバイザーです。

稲垣 商学部商学科3年の稲垣です。木下ゼミでは主にプログラムを中心に勉強していますので、パソコンはわりと使っていると思います。

牧野 経済学部経済学科3年の牧野です。コースは金融・財政コースで、金融機関をめざして頑張っているところです。

児島 経済学部で経済学を学ぶ上で必要な情報関係の講義や実習を担当しています。本学にノートパソコンが導入されるときからお手伝いをしています。

加藤 本日はお忙しいなか、お集まりいただきありがとうございます。今日は今年から本格稼働した本学のCCS(キャンパスコミュニケーションシステム)について、利用者である学生のみならず、教員の児島先生にお話を伺い、さらに多くのみなさんにCCSの理解を深めてもらおうと思います。

早速ですが、自己紹介をお願いします。

加藤 高木さん(事務局システム課課長補佐)です。

児島 空一 経済学部助教授です。

牧野 貴太郎 経済学部3年です。

安藤 莉紗 外国語学部1年です。

稲垣 奈穂美(商学部3年)さん

加藤 高木さん(事務局システム課課長補佐)

児島 空一 経済学部助教授

牧野 貴太郎 経済学部3年

安藤 莉紗 外国語学部1年

稲垣 奈穂美(商学部3年)さん

加藤 高木さん(事務局システム課課長補佐)

りなかつたので面倒でした。

稲垣 休講情報携帯にとんでもないもので、いままでは大学でないとわからなかったのが、その点は楽になりました。履修登録も登録の次の日に確認にこなくてはい

牧野 やはり便利になったことは確かです。いろいろな情報が掲示板だけにあると、みんなが集まって見づらいところがありましたが、個人で見られるようになったのが一番大きいと思います。履修登録などもパソコンでするということを考えると「大学つですんであるな」と思いました。

稲垣 休講情報携帯にとんでもないもので、いままでは大学でないとわからなかったのが、その点は楽になりました。履修登録も登録の次の日に確認にこなくてはい

牧野 やはり便利になったことは確かです。いろいろな情報が掲示板だけにあると、みんなが集まって見づらいところがありましたが、個人で見られるようになったのが一番大きいと思います。履修登録などもパソコンでするということを考えると「大学つですんであるな」と思いました。

稲垣 休講情報携帯にとんでもないもので、いままでは大学でないとわからなかったのが、その点は楽になりました。履修登録も登録の次の日に確認にこなくてはい

牧野 やはり便利になったことは確かです。いろいろな情報が掲示板だけにあると、みんなが集まって見づらいところがありましたが、個人で見られるようになったのが一番大きいと思います。履修登録などもパソコンでするということを考えると「大学つですんであるな」と思いました。

稲垣 休講情報携帯にとんでもないもので、いままでは大学でないとわからなかったのが、その点は楽になりました。履修登録も登録の次の日に確認にこなくてはい

牧野 やはり便利になったことは確かです。いろいろな情報が掲示板だけにあると、みんなが集まって見づらいところがありましたが、個人で見られるようになったのが一番大きいと思います。履修登録などもパソコンでするということを考えると「大学つですんであるな」と思いました。

稲垣 休講情報携帯にとんでもないもので、いままでは大学でないとわからなかったのが、その点は楽になりました。履修登録も登録の次の日に確認にこなくてはい

牧野 やはり便利になったことは確かです。いろいろな情報が掲示板だけにあると、みんなが集まって見づらいところがありましたが、個人で見られるようになったのが一番大きいと思います。履修登録などもパソコンでするということを考えると「大学つですんであるな」と思いました。

稲垣 休講情報携帯にとんでもないもので、いままでは大学でないとわからなかったのが、その点は楽になりました。履修登録も登録の次の日に確認にこなくてはい

牧野 やはり便利になったことは確かです。いろいろな情報が掲示板だけにあると、みんなが集まって見づらいところがありましたが、個人で見られるようになったのが一番大きいと思います。履修登録などもパソコンでするということを考えると「大学つですんであるな」と思いました。

稲垣 休講情報携帯にとんでもないもので、いままでは大学でないとわからなかったのが、その点は楽になりました。履修登録も登録の次の日に確認にこなくてはい

牧野 やはり便利になったことは確かです。いろいろな情報が掲示板だけにあると、みんなが集まって見づらいところがありましたが、個人で見られるようになったのが一番大きいと思います。履修登録などもパソコンでするということを考えると「大学つですんであるな」と思いました。

稲垣 休講情報携帯にとんでもないもので、いままでは大学でないとわからなかったのが、その点は楽になりました。履修登録も登録の次の日に確認にこなくてはい

牧野 やはり便利になったことは確かです。いろいろな情報が掲示板だけにあると、みんなが集まって見づらいところがありましたが、個人で見られるようになったのが一番大きいと思います。履修登録などもパソコンでするということを考えると「大学つですんであるな」と思いました。

稲垣 休講情報携帯にとんでもないもので、いままでは大学でないとわからなかったのが、その点は楽になりました。履修登録も登録の次の日に確認にこなくてはい

牧野 やはり便利になったことは確かです。いろいろな情報が掲示板だけにあると、みんなが集まって見づらいところがありましたが、個人で見られるようになったのが一番大きいと思います。履修登録などもパソコンでするということを考えると「大学つですんであるな」と思いました。

稲垣 休講情報携帯にとんでもないもので、いままでは大学でないとわからなかったのが、その点は楽になりました。履修登録も登録の次の日に確認にこなくてはい



加藤 高木さん
(事務局システム課課長補佐)
児島 空一 経済学部助教授
牧野 貴太郎 経済学部3年
安藤 莉紗 外国語学部1年
稲垣 奈穂美(商学部3年)さん

PROFILE



COSMORAMA
OCTOBER 2003 68

CONTENTS

Interview

- 1 CCS座談会
名古屋学院大学の
キャンパスコミュニケーションシステム
について

Topics

- 2 早まった採用活動・就職戦線はもう終盤
- 3 名古屋学院大学の社会人大学院
小嶋 博
- 4 本学のインターンシップシステムについて
木下和也
- 5 登り窯
小川普大

Essay

- 6 シリーズ⑩ エッセイ
手紙 八亀五三男

Campus Now

- 7 私の講義日誌 小野島 真
- 8 ラグビー部・準硬式野球部相次いで優勝
サークル短信 体育会「準硬式野球部」
- 9 2003年度学部長表彰
～100名に学部長表彰状を授与～
チャペルのかたすみで⑧ チャペル相談室
- 10 決算と予算

Information

- 12 AO(体験入学等による)入学試験
第39回大学祭 テーマは「さんきゅ～」
オープンキャンパス
2003年度父母会総会開催・役員紹介
2003年度父母懇談会
伊藤信義理事長が就任・役員紹介
留学生別科に外国人学生25名が入学
高校生英語スピーチコンテスト

COSMORAMA(コスモラマ)の由来

「宇宙」や「世界」を表すCOSMOS(コスモス)とPANORAMA(パノラマ)との合成語。19世紀にロンドンの街角でしばしば行なわれた世界各地の様子をのぞきみせるショーの名称として使われたのが最初。世界の動きに興味を持ち、大きな視点に立ってそれを見渡すことができるようにとNGU NEWSの愛称に採用しました。

司会 前は履修登録を紙(履修登録確認表)で配布していましたが、以前に紙がなくなると学生のみなさんが不安になるという意見を聞きました。どうでしたか。

稲垣 窓口で紙をもらうために、すごく並ばなくてはならないので苦痛でした。画面で確認できれば、紙がなくても問題ありません。それから、レポート提出などはパソコンで作成してCCSで提出できるので、他大学の話を聞くとCCSはすごく進んでいると思います。

安藤 パソコンがもらえることもすごいと思っただけ、授業を登録したり、成績も見ることができたりということで、高校に比べて大学ですごくいいなと思いました。大学はそういうのがあたりまえだと思っていたんですが、他の大学の友だちが授業を登録にいくとか成績を見にいくと聞いたとき、この大学はすごいんだなと思いました。

司会 CCSのところが便利と思いましたが？

安藤 携帯に時間割や休講情報が入っているとか、その日の予定が入ってくるんです。児島 教員からみるとCCSにより受講生のデータ処理がしやすくなったことだと思います。たとえば、受講生の成績を公平に評価しようとする、出席やテスト、レポートの成績で総合的に評価するわけですが、その処理には番便利なのはエクセルです。CCSで便利になったことは履修者名簿データから成績を評価し、転記せずに提出することができることです。

司会 これまで便利になった話はかりでしたが、不便になったということはないでしょうか？

児島 コンピュータをあまり利用されない

先生方にとっては、本当に大変なことでは、やはり世の中の流れですから…。

稲垣 なかなかつながらなくて、試験中に席を移動しなくてはならなかったことがあります。

司会 今年リブレスして改善しましたので大丈夫です。

牧野 履修登録以外にパソコンにさらななくなったという話も聞きますので、出席をとるのもCCSでやったらいいと思います。携帯だけで終わるのでなく、レポートはすべてパソコンで作成するとか…。

司会 カリキュラムのなかでもパソコンを利用する形態がもっと求められますね。

稲垣 学科とか所属コースでパソコンの利用頻度がずいぶん異なります。とくに経営情報コース以外は本当に使う機会が少なく、授業のなかでパソコンを使うことがほとんどなく、全部講義だったたりするので、もっと利用してほしい。

安藤 大学へ入るまではぜんぜんパソコンを使っていたが、いまでは結構使っています。また、自宅ではインターネットでCCSを使っています。

司会 CCSによってキャンパスライフで変わったことがありますか。とくに3年生のみなさんどうでしょうか？

稲垣 がらりと変わったことは確かです。学



内のいろいろなところを「行ったり、来たり」することがなくなり、掲示板を並んで見ることがなくなりました。

牧野 それが一番大きいと思います。掲示板でないので、CCSでは、自分の情報として見るものが増えました。

司会 いま掲示板を見ますか？

稲垣 掲示板の右の付近を、たまに見ます。
牧野 たまに見ます。

安藤 ぜんぜん見ません。

児島 教員の立場からいうと、人数の多い講義ほど、このCCSの良さが発揮できるのではと感じます。これまで手作業で行ってきた出席カードの整理、データの集計、レポートの提出回数、小テストの結果など、受講生の学習状況がCCSで自動的に集計されるため、すごく楽になりました。

司会 CCSに対する新たなニーズに気づいていかなければなりません。今後の要望についてお聞かせください。

児島 CCSの個人画面には、問合せやコミュニティ機能があるのですが、みなさん使っていますか。

安藤 利用したことはありません。

稲垣 トップ、個人情報、申請・登録とか、就職は使ったことがあります。クラブは入っ

ていませんし、その他も全然使っていません。
牧野 だいたい(稲垣さんと)似たような利用ですが、自学自習は利用したことがあります。

稲垣 自学自習は学部が違う自分には関係ないと思っていました。

児島 本学の学生ならだれでもできます。私の授業の自学自習になぜか他学部の人

司会 コミュニティについてはもっと工夫が必要かも知れませんね。

児島 学生のみなさんの利用度を高めるには、授業が一番です。私も普通の講義でもCCSを使っていますが、利用頻度が高い学生の成績はどんどん伸びていっています。今後CCSを使った授業を増やしていくことが必要と思っています。学生であれ、教職員であれユーザが増えることで、新たなニーズが出てくるのではないのでしょうか。ユーザのわがままが新しい開発につながっていくと思います。ネット講義でも単位がとれるようになったので、いち早く試行する必要があると思います。そのためにはCCSのようなコミュニケーションツールがより重要となります。大学のキャンパスではゼミのような少人数クラスで徹底的に鍛え、一方、大人数の授業は、ネット講義として受講生が理解できるまで繰り返し視聴し、知識を蓄えるといった使い分けが大切になると思います。

司会 最後に非常に先進的なCCSを利用した学生のみなさんが社会に出て行った時に、社会に対してどういった提案をしていくくれるかとても楽しみにしています。今日はどうもありがとうございました。

〈建設業〉アサヒハウス工業(株)、セキスイハイム東海(株)、積水ハウス(株)、大和ハウス工業(株)、東建コーポレーション(株)、西野建設(株)、富士ハウス(株)、三重セキスイハイム(株)、(株)サンヨーハウジング名古屋、寿鉱業(株)、(株)ビギン、(株)オンテックス、(株)日本総合施設、ニッカホーム(株)、竹基板硝子(株)、JFEエンジニアリング(株)、(株)マツザワ瓦店、(株)マルイ土木

〈製造業〉イースタンビバ(株)、カネ美食品(株)、コミ(株)、三共食品(株)、東海農産(株)、名古屋製酪(株)、日本食研(株)、フジパン(株)、(株)ウオフク、スギ製菓(株)、わらべや東海(株)、興和(株)、(株)松希、(株)ワイズ、(株)富忠、東海紙器(株)、(株)メイワパックス、大豊製紙(株)、エムアイシーグループ、豊橋合同印刷(株)、大協薬品工業(株)、(株)植屋、(株)日本点眼薬研究所、三甲(株)、(株)葵商店、(株)斑鳩、(株)リンナイ、安藤製罐(株)、(株)三栄水栓製作所、(株)豊春、望月螺旋(株)、(株)竹屋、(株)ラミーコーポレーション、SUNX(株)(サンクス)、大和冷機工業(株)、(株)マキタ、タイヨーエレクトリック(株)、ユタカ工業(株)、ARC(株)、(株)ジャクエツ(ジャクエツグループ)、つるや(株)、(株)人形の天神屋、(株)高橋テクノ、東洋貿易(株)、積和不動産中部(株)、(株)ニッショー、(株)エイブル、(株)ミニミニ、(株)エム・シー・コーポレーション、アパートネットワーク(株)、(株)美建コーポレーション、デュプロ北陸販売(株)

〈卸売業〉八木兵(株)、榎本(株)、クロスプラス(株)、(株)ファイブ・フォックス、美濃屋(株)、ラブリークイーン(株)、玉一商店(株)、中日本フード(株)、丸進青果(株)、大和産業(株)、鈴木産業(株)、東海食品(株)、(株)エパルス、(株)クラヤ三星堂、(株)中京医薬品・明祥(株)、コーセー化粧品販売(株)、(株)太田廣、不二化成品(株)、初穂商事(株)、三機商事(株)、愛知ゼロックス(株)、イスコジャパン(株)、(株)井高、キャノンシステムアンドサポート(株)、(株)岐阜クボタ、黒田電気(株)、(株)進和、中央工機(株)、トヨタL&F中部(株)、常盤産業(株)、(株)NaITO、峰澤鋼機(株)、(株)トップ、(株)サカエ、(株)ユヤマ、東海ニチュ(株)、フィールズ(株)、(株)長野クボタ、(株)オータケ、尾畑長硝子(株)、(株)指兼、日硝(株)、宮吉硝子(株)、渡辺パイプ(株)、(株)丸喜金属本社、プリDESTンタイヤ静岡販売(株)、ヨコハマタイヤ静岡販売(株)、中発販売(株)、プリDESTンタイヤ中部販売(株)、アシックス中部販売(株)、(株)リブライト、山一織物(株)ARAN事業部(百貨店・スーパー)(株)アオキスーパー、(株)通鉄ストア、(株)カネスエ、スーパーサンシ(株)、(株)ダイエー、(株)大和、(株)ドミー、名古屋勤労市民生活協同組合、(株)フィールコーポレーション、(株)パロー、マックスバリュ中部(株)、ユニー(株)、(株)ヨシヅヤ(義津屋)、(株)デリリーヤマザキ、(株)望月蔵商店

〈小売業〉(株)ジェイ・インターナショナル、青山商事(株)、(株)さが美、(株)雑貨屋ブルドッグ、(株)タカキュー、(株)たけうち、(株)ツルカメコーポレーション、(株)ほていや、(株)クラヴィス、(株)キッドラボ、(株)ジュン、(株)ニキエージェンシー、(株)スピードグループ、(株)宝石・時計の武内、(株)ピュア、(株)松浦商店、(株)ハビネス、(株)セント・リングス、(株)アトム、さわやか(株)、スガキコンステムズ(株)、チタカインターナショナル・フーズ(株)、(株)ワイズ、カップクリニティ(株)、(株)焼肉屋さかい、(株)くらコーポレーション、愛知中央三菱自動車販売(株)、愛知トヨタ自動車(株)、愛知目産自動車(株)、東海マツダ販売(株)、香川トヨペット(株)、岐阜スズキ販売(株)、岐阜トヨペット(株)、トヨタカララ愛知(株)、トヨタカララ岐阜(株)、トヨタカララ名古屋(株)、トヨタビスタ岐阜(株)、名古屋ダイハツ(株)、名古屋トヨペット(株)、日産プリンス名古屋販売(株)、(株)スギヤマ薬品、中部薬品(株)、(株)東和工業(メガネプラザ)、(株)富士薬品、(株)マツヤデンキ、(株)ミドリ電化、(株)スポーツショップキムラ、(株)スキ薬局、(株)ヤマダ電機、(株)生活考房、中井薬品(株)、イワタニ東海(株)、(株)ジップ・ホールディングス、中部オプテカル(株)(メガネの赤札堂)、ゲンキー(株)、(株)コマリ、(株)ニトリ、(株)エイデン、(株)ギガスカンサイ

〈金融・証券・保険〉(株)名古屋銀行、愛知信用金庫、福岡ひびき信用金庫、岐阜商工信用組合、瀬戸信用金庫、高山信用金庫、東春信用金庫、西尾信用金庫、尾西信用金庫、益田信用組合、(株)ユニファイナンス、長野県労働金庫、笠岡信用組合、遠州中央農業協同組合、尾張中央農業協同組合、あいち豊田農業協同組合、鳥羽志摩農業協同組合、能美農業協同組合、第一生命保険(株)、名古屋フレスパ営業室

〈運輸・通信〉名鉄ゴールデン航空(株)、伊勢湾海運(株)、トレーディア(株)、(株)エスラインギフト、近鉄物流(株)、(株)サカイ引越センター、佐川急便(株)、トランコム(株)、飛騨運輸(株)、名鉄運輸(株)、三愛ロジスティクス(株)、(株)トーン、(株)ネクシイズ

〈サービス業〉(株)さなる(佐鳴予備校)、(株)秀英予備校、(株)NOVA(NOVAグループ)、(株)アビバジャパン(アビバグループ)、(株)クラ・ゼミ、(株)イーオン、(株)ドーマンアイシー、(株)有線ブロードネットワークス、(株)インタープレイズ、スターキャット・ケーブルネットワーク(株)、(有)プレス、河合秀俊税理士事務所、(株)システムリサーチ、東京システムズ(株)、バイソルシステムズ(株)、(株)アイ・イーグループ、タック(株)、ネクストウェア(株)、(株)ユアソフト、(株)コスモス・コーポレーション、(株)大木家(グループ)、(株)ダイナム、(株)ナカモサール、堀場産業(株)名古屋クラウンホテル、リゾートトラスト(株)、(株)大松(ラッキーグループ)、(株)読売旅行、名阪近鉄旅行(株)、(株)東都、(株)金沢レジャー計画、(株)シティホテル美濃加茂、(株)アイビー企画、足助病院、旭町社会福祉協議会、アーク引越センター(株)、(株)愛知冠婚葬祭互助会高砂殿、出雲殿グループ、(株)キャッツ、(株)クリスタル、瀬戸いすゞ(株)、総合警備保障(株)、西尾レントール(株)、コナミスポーツ(株)、明豊自動車(株)(豊田自動車学校・三好自動車学校)、東海警備保障(株)、コミー(株)(TBC東京ビューティーセンター)、(株)東産業、(株)アクティス、(株)引越社(アリスマークの引越社)、(株)ベンチャーセーフネット、(株)ナガワ、(株)エヌ・エス商事(エルセース)、(株)コーテック、(株)ミウラ葬祭センター、(株)イマージュ・レシア、(株)プレイザール、(株)ベルモニー、(株)アスピカ、(株)遊・振議会、日本管財(株)、愛知県警察官

今年度の採用活動・選考は、昨年より2週間程早まりました。参考までに採用活動の流れを紹介します。①10月から資料請求(エントリー)開始。②2月から合同企業展、会社説明会開始(昨年より2週間程前倒し)。③3月から選考開始・内定出し(昨年より2週間程前倒し)が始まり現在にいたっています。特に今年の企業側の特徴として、①採用の抑制(春先の段階では、企業の採用意欲は高かったが、米国の失業率悪化・SARSの浮上により採用抑制)。②早期化・短期化(採用選考開始時期は、昨年より2週間程の前倒しであった。例年だと大手企業が採用を終了してから採用活動を行う中小企業も同時期に選考をかけてきました。各企業とも採用人員が少ないため短期間で終了してしまった)。③厳選採用の徹底(量より質

Topics

早まった採用活動・就職戦線はもう終盤

重視の傾向は加速しており、採用予定数の確保よりも、学生の質を優先し採用のハードルを下げることはしない。

学生側の特徴として、①2極化(採用される層、採用されない層が明確になった)。②キャリアデザインの不足(就職意識・職業観の希薄)。③安定志向の高まり(公務員や有名企業以外考えない)。④2・3社受験し、あきらめてしまふ(就職をアルバイトの延長とししか捉えていない)。

今年度の特徴的なことをあげましたが、今企業の雇用形態(就労構造)も大きく変化し、従業員数の20%が正社員で、残りの80%をアルバイト、パート、契約、派遣等の社員で賄っている企業もでており、今後ますます正社員以外の比率を高める企業の増加が予測されます。従って企業の求める人材は、パート・派遣・

契約社員等よりも優秀な人材でないと採用されないということです。(今企業が一人採用すれば、賃金・退職金等を含め3億円かかるといわれており、正社員採用は企業の大きな先行投資となります。有為な人材でなければ採用されません。)就職戦線もいよいよ終盤戦にきています。活動中のみなさんは体制を立直しキャリアセンターと連携をとり、追加求人等の情報を収集、積極的に活動してください。

企業から内定を得ることは簡単ではありません。1・3年生のみなさんは、秋学期から開講される「能力開発総合講座1b・2b・3b」を受講してください。今年度から「就職ガイダンス」は開催されません。必ず「就職」を希望する3年生のみなさんは、「能力開発総合講座3b」を受講(履修)してください。

Member of
Society
Graduate
School



1997年、名古屋学院大学に大学院開設以来、経営政策専攻は、開設当初から社会的に注目され、定員を大きく上回る大学院生が集い、現在では、修士課程生180人、博士課程生30人を擁し、博士の学位取得者は6名と活況を呈している。それは、社会人を前提として、①学ぶ場所の利便性を考慮した名古屋の中心部・栄・「中日ビル」サテライトでの授業、②勤務時間を考慮して、月々金曜日の18時から21時、土曜日9時半から16時半を中心に行なわれる授業形態、③社会人を満足させることのできる授業内容の提供、という教育を行った結果である。

これまで、大学院というと、学部で優秀な成績を修めた学生が、将来、研究者になることを目的に、さらに、高度な専門知識を研究・修得するところというイメージが非常に強かった。これに対し、経営政策専攻では、従来の研究者の養成と異なり、社会人を対象に専門職業人教育を目的に、高度な理論研究と現実問題解決の融合を図る教育を行ってきた。今日、ロースクールとかアカウンティングスクールと呼ばれる専門

大学院構想が世間で注目されるようになってきたが、本学の経営政策専攻はその先鞭を切ったものであり、社会人大学院としての本学の状況は全国的にも注目されている。

経営政策専攻が目指した大学院教育は、アメリカにおけるMBA（経営大学院）を日本社会に適合するよう修正した日本版MBAである。まだ、MBA制度は日本では理解が十分でないが、アメリカでは、長い歴史の中で作り上げられた専門職業人教育制度である。社会経験を持った人たちが、仕事をしながら、または、いったん休・退職してMBAで学び、その人たちがアメリカ経済の中心として活躍している。日本では、社内教育のみにより人材育成を図ってきた。しかし、経済的にバブルが崩壊し、内外の企業環境変化に適応できない企業が続出するに至った現在、企業人の再教育機関の必要性やMBAの必要性が注目されるようになってきた。しかし、未だに、十分な認識が進んでいないのが現状であろう。一方、企業や多くの組織体では経営問題解決方法の模索や人材不足の悩みを抱え途方



中日ビル・さかえサテライト

に暮れているというのも実情である。

このような経営問題等の解決を重要課題として本学経営政策専攻では教育を行っているが、今後本格的なMBA社会人大学院として、社会での定着を目指していくとともに、より充実した内容のものとして発展していきたいと考えている。

こじま ひろし

小嶋 博 (大学院経営政策専攻主任、商学部長)

名古屋学院大学の 社会人大大学院



尾張旭市役所でのインターンシップ

Topics

これまで商学部の専門科目「企業実習」として行われてきた本学のインターンシップは、2001年度から全学的に実施されるようになり、それとともない、事務処理やプログラムの企画・運営主体がキャリアセンターに移管されることになりました。

本学のインターンシップ・プログラムは、企業や官公庁などで実際に就職経験をするにより、業界や仕事への理解を深め、社会の担い手としての視点を育むことを目的としています。また、実習が有意義なものとなるよう万全を尽くすために、実習プログラム以外に、

事前学習・事後学習が用意され、その成果を教育的視点から確かなものとなるようにプログラムが改正されました。

さらに、本学のインターンシップ・プログラムは教育の二環として位置づけられており、単位認定も行われています。単位認定方法については2001年度より、事前学習・事後学習および実習先での評価を参考に評価・認定を行っています。

学生及び実習先へのケア

インターンシップ・プログラムは夏と春の2回実施され、夏休み・春休みの2週間を実習期間とし、その前にそれぞれ

事前学習を4時限分(総合オリエンテーション、事前レポート報告、ビジネスマナー講座)、実習後に2時限分(実習成果報告会、ディスカッション)の事後学習が行われます。特に事前学習におけるビジネスマナー講座は外部から専門の講師を招いており、社会人として当然身につけていなければならないマナーが徹底的にたたき込まれます。

募集は夏季プログラムで6月、春季プログラムで11月と、それぞれ実習の2ヶ月前に行われます。応募者が多数の場合、面接や適正テストによって選抜されます。さらに、選抜後においても、事前学習で



きのした かずや
木下和也 (商学部助教授)

本学のインターンシップシステムについて

の参加態度が著しく悪い学生に対しては、実習参加を取り消すこともあり、実習先への配慮を万全にしています。

成果と外部からの評価

このような体制で行われてきた本学のインターンシップは協力いただいている実習先からは本学学生の評判も良く、高い評価をいただくとともに就職活動にもプラスになっています。また、数字の面でも本学のインターンシップは全国の大学から一目置かれる存在となっています。具体的には、インターンシップ実施主要大学学生数二覧によると、実施学生数については全国91大学中23位(121人)、また、実数で上位25大学中、全学生における実施学生数の占める割合は15位(26%)となっています。つまり、実数においても、実施率においても全国で上位にランクされることがわかります。

今後の展開

実習先の開拓に関しては、現在、公務員、金融機関、旅行、ホテル、情報、冠婚葬祭、販売、研究機関など多岐にわたり、文化系学生の实習先としてはほぼ全ての業種を網羅しています。これらは、キャリアセンター職員の日々の努力と教職員の個人的な関係から紹介された企業などで構成されます。この中には、本学教職員が外で食事する際に偶然に出会ったことがきっかけで実習を引き受けていただいた企業もあります。今後も、学生からの要望及び社会的要請の下に幅広くより質の高いプログラムの企画・運営を目指すべくキャリアセンター一丸となつてさらに努力を続けていく所存です。

「登り窯」

今回で二回目となった登り窯での焼成（本焼き）は、まさに暑さとの闘いでした。登り窯に詰める作品を7月28日より作りはじめました。部員たちは「どんな風に焼き上がるのかな？」と胸を弾ませながら作品を制作し、初窯の時に上回る作品を作り上げることができました。そして、素焼きを8月11日まで



に完了し、施釉の作業に移っていました。今回、陶芸部は、新しく油滴天目、孔雀釉、御深井、辰砂、志野などの釉薬に挑戦しました。焼き上がりが全く予想もつかないので、みんなが焼く前からワクワクしていました。8月15日からいよいよ窯詰め作業に入りました。陶芸部の指導員である佐々木英司先生と

部員が試行錯誤を繰り返しながら3日間をかけて窯詰め作業を終えました。そして、20日の本番を迎えました。本来、登り窯で作品を焼くときは冬に行うのが主流なのですが、今回は、真夏に行うということで、部員たちは不安でいっぱいでした。

本焼きの初日は、日頃の部員たちの

行いが良かったお陰なのか、雲一つない快晴でした。この日の午前中には、木村光伸前学長が激励に来てくださいました。そして、夜には美夜の窯の青山さんが訪ねてくださいました。本焼き初日は何ごともなく無事に終わりました。二日目は、初日に引き続き雲一つない快晴でした。いよいよ第一房室への薪を投入する作業が始まりました。この日までは窯の温度が順調に上昇したのですが、翌日、1000℃を超えた辺りから温度がなかなか上昇せず停滞期に入ってしまった。このころから徐々に疲労が溜まりだしました。四日目は、指導員の佐々木先生をはじめ、部員たちの体力はもう、限界が来ていました。この日の昼頃にはようやく第二房室の温度が目標の温度になったので第二房室に移りました。この日の午後にはAO入試の受験生たちに陶芸を体験してもらいました。そして、夕方からはTVの取材が来て、部員たちは良い所を見せようと残りの体力を振り絞り、作業に向かいました。最終

日は、みんなの体力は限界が来ていました。そして顔には笑顔はありませんでしたが美夜の窯の八木先生・青山さんの協力を得て、前日の夜から続いていた第二房室の温度の停滞期も脱して、昼過ぎには予定通りに終了する事ができました。

9月1日に窯出しを行いました。窯の扉となっている耐火レンガを一つずつ外していくと徐々に作品が見えてきて段々胸がワクワクしてきて、すべてのレンガが外され実際に自分の作品を手にとったときの感動は何事にもとえる事のできないものでした。

陶芸をやっている人にとって登り窯で作品を焼くという事は一つの憧れです。そのような事が大学で体験できるなんてすごい事なのだと、実際に体験してみると感じました。そして、この感動をもっと多くの人たちに伝えたいと思いました。そして、この貴重な体験で得たものを今後に活かしていきたいと思っています。

最後になりましたが、今回も先輩方を初め多数の方々が激励に来ていただきました。また大久保陶芸部部長には毎回美味しい食事を作っていたいただき、お陰ですばらしい作品を焼成することができました。

ご支援いただきましたみなさま方に心より感謝申し上げます。

ありがとうございます

（陶芸部前主幹 経済学部4年

おがわ ひろき
小川 普大）



「手」紙

やかめ いさお
八 亀 五 三 男
(外国語学部助教授)



最近、書けなくなった漢字が多い。「うせんじょう」の「せん」もその一つである。パソコンだと「うせんじょう」と打つて変換キーを押せば「薦」の文字は自動的に出て来るので、書けなくても正しい漢字だと確認できればそれでいい。

我々はコンピュータと言う便利過ぎるものを手に入れ、日々あらゆる分野においてその恩恵に浴している。文書を作成するにはペンと消しゴムの機能を持ったワープロソフトを用い、自由自在に文章に手を加え編集ができる。学生時代、手紙やレポートの書き間違いをするともう一度最初から書き直さなければならず、時間の浪

費を何度も経験した。授業で学生にレポートを書かせる場合、必ずワープロで打たせるが、内容をチェックする速さが格段に違う。しかし、当日学生に課題を与えその場で文章を書かせる時がある。学生の手書は字体が千差万別で読みづらく時間はかかるものの、各学生の性格が出ていて何か人間味を感じて、ほっとする。暖かみが伝わってくる。

現在は更に進化し、作成した文書をメールでどこにでも瞬の内に送付することができるようになった。手紙の場合、夜書き終え床に就くと今書いた日本語が頭を巡り、あの部分は書き換えた方がいいかなと思ひ、翌朝もう一度書き直して投函することもあった。メールはその場で推敲はするが即座に送付ことになる。一旦送ると内容の訂正はできない。そして、携帯電話によるメールに至っては、ペン、便箋、ポスト、郵便局をいつも持ち歩いているのと同じである。容易にコミュニケーションはできるが、安易になりはしないだろうか。勿論、この究極の便利さは現代社会の回避できない宿命であることは十分承知している。

現代人、特に若者は携帯電話による新しいコミュニケーション方法を創造しつつある。電車に乗り周りを見渡すと多くの乗客が「一心不乱」にメールと格闘している。歩道を向こうから携帯とにらめっこをしながら自転車に乗って来る人がある。こちらを見ないないので、非常に危ない。周りに対

する気配りがない。今年起きた宮城北部地震の際、商店街のアーケードから難を避けて出てきた人達が、周りの人には全く注意を払わず携帯で遠くの人と連絡を取り合っている映像が目に入った。何か不自然だ。極論すると瞬時に60億の人と友達になれるが、その友達を失うのも一瞬である。グローバル化により、触れることのできる暖かい社会は崩壊状態にあり、点と化した個人が「一種の「恐怖空間」の中で必死に新しい形のコミュニケーションを模索している。何か新しい宗教のような気もする。先日テレビで次のような光景を見た。大原女が京都の町を荷車を引きながら花を売り歩いているのだが、狭い道だと車が何台も後ろに繋がってしまう。荷車を傍らに寄せ、停車してある宅配便のトラックの前で、この大原女は「車に乗ると人の顔が見えないので、人間は横柄になる」と感慨深げに話していた。これは私自身に対する戒めとしたい。

最近マウンテンバイクで名古屋市内を走ることがある。田んぼの土手に可憐に咲いているタンポポが見える。木の幹にしがみついて必死に鳴いているセミの音が聞こえる。川にはたくさん鯉が互いに寄り添い流れに逆らって一所懸命泳いでいる。車に乗っているとこれは経験できない。便利さ、快適さを追求すると何か重要なものを見落としかねないので、「手紙」の不便さをもう一度あらためて味わってみるのも一興かもしれません。

私の講義日誌

専門演習Ⅰ、Ⅱ

おのじま まこと

担当者 小野島 真



専門演習Ⅰ、Ⅱ

私の担当する専門演習ⅠおよびⅡ(ゼミ)の講義では、ディベートを取り入れている。最近では、ディベートは一般的となり、ディベートの授業は小学校・中学校などでも行われることが多くなってきた。HP上の小学生のディベートの記録を読んで、かなり高度なことにびっくりさせられることもしばしばである。しかし、残念ながらこれまでゼミの学生のなかでディベートの経験があるものはほとんどおらず、2年次の4月に最初にディベートをやつてもうと、何ともコメントしづらいディベートが目の前で繰り広げられることになる。

春学期が終了する頃には、ゼミ生達もようやく慣れてきて、なんとかディベートらしきものができるようになる。そして、8月には恒例になっている対外試合が待ち受けている。今年3回目を迎えた和光大学半谷ゼミとの合同ディベート合宿は、

東京晴海で2泊3日のスケジュールで行われた。過去2回、未勝利の我がゼミは、必勝を胸に誓い名古屋駅から高速バスに乗り込み、5時間をかけて東京駅へと向かったのである。長時間のバス旅に疲れながら東京に到着した我々一行を、和光大学半谷ゼミがパーベキューの準備を整え歓迎してくれた。場所は若洲海浜公園である。食料から設備の準備まで半谷ゼミの学生達が2日間かけて用意したそうであり、まさにいたれりつくせりのパーベキューであった。デイズニールランドの夜景を見ながらのパーベキューというのも、我がゼミ生達にとつてなかなか良い思い出になったのではないだろうか。半谷ゼミにまずは感謝である。

さて、翌日からは「日本は消費税の増税をするべきである」「日本は首都機能移転をするべきである」「日本は積極的な安楽死を法的に認めるべきである」「観光地での公営カジノを認めるべきである」の4つのテーマについて、2日間にわたりディベートが

繰り広げられた。両ゼミ合わせれば70名近くの学生がおり、その前で一人マイクを使つてしゃべるといふ緊張感に学生達はまじはとまどう。例年見ている光景だが、普段はしっかりと論議できる学生が緊張のあまりしどろもどろになったり、逆に普段は資料の棒読みしかできなかった学生がしつかりと論理性をもつて議論する頼もしい姿を見せてくれることもある。残念ながら、我がゼミは1勝しかすることができず、総合成績では半谷ゼミに敗退してしまったが、学生達にとつては得難い経験だったのではないだろうか。また、前日に、グループで早朝4時近くまでディベートの作戦会議をひらいて話し合っていたりするゼミ生の姿をみて、勝利に固執する学生達の意外な一面を知ることができ、教員としても発見の多い合宿であった。

最終日にはディベートの後、東京見物としてお台場へ全員で赴いた。驚くのは東京に来るのは初めて、ないしは修学旅行以来

という学生が比較的多いことである。「人多すぎる」「歩くのが早い」「怖い」などという学生達の声を聞いていると微笑ましいが、将来のビジネススマン・ウーマンとして大丈夫なのかと疑問も持つてしまう。さて、お台場ではフジテレビなどの観光施設を見学した後、新観光スポットの大江戸温泉へと赴き、ディベートの疲れを温泉でとるとともに、半谷ゼミ生との懇親会を開催した。この頃にはお互いのゼミ生達はすっかり仲良くなり、学生同士で携帯電話の番号を交換していたりする。最初は、しぶしぶ合宿に参加していた学生達も、終わつてみれば楽しかったと言うのが大多数である。この合同ゼミ合宿は小野島ゼミ恒例行事として、今後も継続してゆきたいと思う。来年度は名古屋で開催予定であり、我々がホスト(ホステス)である。次年度の3年生生達がどのような企画をしてくれるのか、楽しみにしたいと思う。

(経済学部 助教授)

ラグビー部・準硬式野球部 相次いで優勝



ラグビー部(東海学生7人制ラグビーフットボール大会優勝)、準硬式野球部(東海地区大学準硬式野球選手権大会優勝)が相次いで地区大会で優勝しました。

優勝を祝し、7月9日(水)第2学生食堂で大学主催の合同祝賀会を開催し、学長はじめ教職員、クラブ員など約150名が集い、両クラブの活躍を祝いました。

ラグビー部・東海学生7人制ラグビーフットボール大会優勝

ラグビー部は、現在75名の部員を擁し、東海学生ラグビーフットボール1部リーグに属しています。6月1日開催の「東海学生7人制ラグビーフットボール大会(通称・東海学生セブンズ)」で優勝し、23団体の頂点に立ち、昨年の準優勝の雪辱を果たしました。

戦績は次のとおり

2回戦 V S名古屋工業大学 ○33:0
3回戦 V S愛知工業大学 ○21:12
準決勝 V S名城大学 ○14:12
決勝 V S中京大学 ○22:10

準硬式野球部・東海地区大学準硬式野球選手権大会優勝

準硬式野球部は、現在44名の

部員を擁し、東海大学準硬式野球1部リーグに属しています。5月28日開催の「第20回東海地区大学準硬式野球選手権大会」で優勝し、22団体の頂点に立ちました。優勝したことにより、春季リーグで優勝した中京大学と「第55回全日本大学準硬式野球選手権大会」の出場をかけて主座決定戦を行なった結果、10対9で勝利したため8月16日からの全国大会(名古屋会場)出場権を得ました。

8月19日に日本大学と初戦を熱田球場で行い、残念ながら11対1で敗退しました。

ちなみに、本学に勝利した日本大学は、勝ち続けて全国優勝を果たしました。

戦績は次のとおり

第20回東海地区大学準硬式野球選手権大会

2回戦 V S静岡産業大学 ○7:5
3回戦 V S浜松大学 ○9:2
準決勝 V S名城大学 ○9:2
決勝 V S名古屋商科大学 ○11:9
王座決定戦

第55回全日本大学準硬式野球選手権大会

2回戦 V S日本大学 ×1:11



体育会

準硬式野球部



現在、準硬式野球部は、部員44人で活動していますが、今年のチームは以前のチームとは全く違ったクラブになっています。

昨年までは、近年の成績のみならず全国大会に出場できるようなチームとはほど遠いものでした。それは、今までは当たり前のことのできていないチームだったからです。例えば、集合時間への遅刻・無断欠席、道具の管理、連絡事項等の伝達といった野球以前のクラブの統制・チームワークが全くできていなかったからです。

今年の3月に新チームを結成して以来、野球の細かい技術面よりも、これらのことを徹底して部員全員が守ることを基本にして、チームの雰囲気がとても変わりました。また、練習に部員全員が参加することによって、野球への集中力が高まり、細かい技術面にも力が入り、徐々に実力がついてくるのを感じました。これが実を結び、全国大会出場という大きな目標を達成することができました。これに満足せず、全国大会でも好成績を残

そうと、合宿など徹底的に練習を行い、万全の態勢で大会に挑んだのですが、強豪日本大学を相手に手も足も出ず、惨敗してしまいました。

しかし、敗れましたが、「自信」というかけがえのない収穫を得ることができました。今回の全国大会初出場だけで満足せず、「当たり前」のことが当たり前でできるチーム」という方針をこれからも徹底し、「当たり前」のように出場できるようなチームになつて、名古屋学院大学の名を全国に広めていきたいと思っています。

私たちの目からの活動は、大学やご父母の方々の協力・応援が支えになっているということをとても実感しました。これからも準硬式野球部を見守っていて欲しいと思います。この感謝の気持ちを、応援してくださいという方々に対し、応援していただくと思っています。ただ、期待していただけるようなチームになります。期待してください。ありがとうございます。

(準硬式野球部主将 経済学部3年 斉藤知幸)

2003年度学部長表彰

～100名に学部長表彰状を授与～

学業成績優秀者を表彰する学部長表彰者100名が決まり、6月18日(水)チャペルで表彰式が行われ、それぞれの学部の学部長から表彰状と学業奨励金(図書券2万円/人)が授与されました。

おめでとうございます。



商 学 部

2年生

千賀 聖子	岩田 尚女	秋田 拓郎	加藤 愛	森 友美恵
富永 彩華	渡邊 涼太	大竹 敦子	吉田 清香	近藤 里美

3年生

大林恵美子	佐藤 昌子	番条 真一	高橋 沙江	辻 泰範
朝倉 正雄	渡邊 智子	伊藤 雅泰	木下 豊	木島 康雄

4年生

浅井 美帆	藤森 美幸	山本 裕之	何 瑞歆	清水 紀孝
外山 勲	井野 貴絵	谷中 路子	楨 大輔	松本 優子
吉田 淳一				

経済学部

2年生

澤村さやか	板倉 僚	橋本 理博	赤堀 俊介	安藤 重久
岡田奈緒美	川崎 政行	福田 崇人	宮地 勇太	二村 真弘
加藤さや香	松島 和幸	岩本 葉月	柳原 綾乃	川口 高澄

3年生

竹内 勝彦	佐藤 由季	村雲 正和	岩泉 正彦	石原 万貴
榊原 千草	横野 亮	今枝 篤希	中村 征司	山本 真也
山田英津子	森宗洋太郎	長坂 透	鈴木 智子	廣瀬 雅人

4年生

柳川 梨沙	小寺 景子	渡邊 沙織	北川愛季美	林 大輔
服部 友香	塚本 喬久	末次 英恵	由井 信行	安倉 亜弥
梶間 貴可	太田 喬士	丸山 惇一	稲垣友紀典	中村 仁士
伊藤 嘉晃	石川 隆志			

外国語学部

2年生

原口 智子	森本 真季	志村 早織	小泉 詠美	佐々木由香
小宮 高志	近藤 智子			

3年生

杉浦 愛	石尾美津子	増田多衣子	原 万祐子	梅村 香織
松田 真実	仙田 幸史			

4年生

水野 佐知	寺尾 吉巨	林 亜美	中村友貴恵	井口己智子
右高 知佳	玉木 舞	青山 咲子		



のちようと気になることでも、人に話すと随分ちがいます。場所はチャペルのかたすみの読書室にあります。

チャペルのかたすみで⑧ ——チャペル相談室——

キリスト教センター 主事
福井 智ふくい ち

今年の6月にチャペル相談室を開設しました。何でも気軽に、ゆつくり、じっくり、安心して話せるよう部屋の配置や構造に工夫をこらしています。すでにたくさんの方の学生さんが利用されました。一人一人じっくりお話を伺っています。様々な環境の中で、それぞれの抱えている出来事や悩みに立ち向かい、あるときは耐え、がんばり、前進しようとしている姿に、心打たれます。私は、多くの場合ただじっと来室された学生さんの苦しみや、悲しみに傾聴するのみです。学生さんは時に涙し、

くやしい胸のうちをぶつけ、時に沈黙して考えておられます。そしてひとしきり話し込むと、決まって、「話すだけでだいぶ楽になりました」と言っていて行かれます。話をしている内、自分で答えや、方向性を見出すのでしょうか。しかし、たまに、「どうしたらいいのでしょうか?」といった答えを求められる場合があります。「どうしたらいいのでしょうか?」と、また振り出しに戻って一緒に考えます。そうして、できるだけベストな方法は何か一緒に考えてゆきます。学生のみなさん、ささいなことでも、ほん



学校法人名古屋学院大学の2002年度決算は5月21日理事会で、2003年度当初予算は去る3月19日に、また、2002年度決算数値を継承した2003年度補正予算は5月21日理事会と評議員会で承認されましたので概略をお知らせします。

学校法人会計は、経営の状態を見る「消費収支計算書」、資金繰りの状態を見る「資金収支計算書」および、財政の状態を見る「貸借対照表」により表示されています。当然この3つの計算書は相互に密接な関係があり、経営状態の善し悪しは、消費収支が均衡状態(消費収入 $\geq$ 消費支出)であるか否かが一つの判断基準になります。また、収入 $\geq$ 支出であれば資金繰りに窮することはないこととなり、それら経営状態の結果は財政の状態を表す貸借対照表上の財務比率や正味財産に影響を与えることとなります。

2002年度決算

◆消費収支計算書

消費収支計算書は、当該年度の帰属収入合計(借入金等収入は除く)から基本金組入額を控除した「消費収入」と当該年度に消費する「消費支出」を比べて当年度の「収支差額」を算出する構造となっています。これにより当年度の収支の均衡や経営状態の健全さを判断することができます。また、基本金組入額は当年度ないしは将来の施設・設備取得資金ですが、同時に永続的な教育研究活動を確保するために、計画的に自己資金を充実するために別途留保し、消費収入、消費支出に反映させないことになっています。

消費収入は、53億6,088万円となっています。この額は、帰属収入56億8,746万円から基本金組入額3億2,658万円を控除したものです。一方、消費支出は、52億2,310万円となっており、その結果、当年度の収支の差額は1億3,778万円の収入超過となりました。

◆資金収支計算書

資金収支計算書は、当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入、支出の内容を明らかにすること及び支払資金のてん末を明らかにすることです。資金収支計算書には借入金収入、前受金収入等が含まれ、また、施設・設備関係支出には資産の取得額が計上されます。

2002年度の資金規模は、92億956万円(前年度比で、9,365万円増、1.0%増)です。また、資金繰りの状態を見る2002年度末の次年度繰越支払資金は36億8,618万円となり、2001年度末(36億1,839万円)より6,779万円増加しています。

◆貸借対照表

貸借対照表は、期末における大学の資産額を示し、その財源が負債(借入金等)、基本金(自己資金より調達した額)、及び消費収支差額からなっていることを表すものです。

2002年度の本学の総資産は199億2,928万円となっています。基本金と消費収支差額を合算した正味財産の額は、173億5,452万円(前年度比2.7%増、4億6,435万円増)となっています。本学の長期借入金は2000年度に全額償還されています。

2003年度予算

◆消費収支予算書

帰属収入合計は52億3,404万円(前年度予算比では3億5,146万円(6.3%減)の減収となっています。基本金組入額2億4,250万円(前年度予算比37.8%減、1億4,749万円減)を控除すると、消費収入合計は49億9,154万円(前年度予算比3.9%減、2億398万円減)となります。これに対し消費支出は49億9,713万円(前年度予算比1.2%減、5,823万円減)であるため、当年度消費収支差額は559万円の支出超過です。したがって、翌年度繰越消費収支差額は3,256万円の収入超過となっています。2003年度予算は帰属収入の減少はありましたが予算編成の一つの目標である収支均衡については一応達成されているといえます。

◆資金収支予算書

2003年度の予算規模は、89億1,421万円(前年度予算比1億1,993万円の減額(1.3%減)となっています。資金繰りの様子を見る次年度繰越支払資金は35億9,616万円(前年度予算比8,135万円の減となっています)。

◆2003年度の主な事業内容

- ・商学部新学科設置
(商学部情報ビジネスコミュニケーション学科、2003年4月設置予定、入学定員120名)
- ・通信制大学院設置
(外国語学研究科通信教育課程設置3年度目、入学定員40名)
- ・大学院昼夜開講
(さかえサテライト設置7年度目、名古屋市中日ビル7階)
- ・就職課をキャリアセンターに改組し学生の能力開発をサポートする体制整備の強化。
- ・就職講座
(能力開発講座・資格講座29種・公務員講座・インターンシップ)
- ・情報教育推進
(ノートパソコン全学生に配布8年度目、第8期電子計算機システム初年度)
- ・学内情報システムの整備とIT化の整備推進
(キャンパス・コミュニケーション3年度目)
- ・図書館システム(新図書館パッケージシステム初年度)
- ・国際交流推進
(短期・中期・長期の派遣留学生約200名、協定校からの交換留学生の受入)
- ・特色ある教育
(経営者特別講座、企業・市場見学会、導入教育、陶芸実習)
- ・スクールバス運行
(無料化運行の実施、高蔵寺・瀬戸市駅2路線、平日最大164便運行)
- ・奨学金
(学内奨学金「一般奨学金・学業奨励金・緊急奨学金」、日本育英会奨学金)
- ・健康診断
(学生定期健康診断、学医健康相談・カウンセラー相談日設置)
- ・父母懇談会
(開催地／大学・岐阜・四日市・浜松・金沢・松本・彦根・岡山8会場)
- ・エクステンションセンター
(名古屋学院大学シティカレッジ 2003 ことばの不思議、英語で万博 他)

2002年度決算及び2003年度予算

●資金収支計算書

(単位：千円)

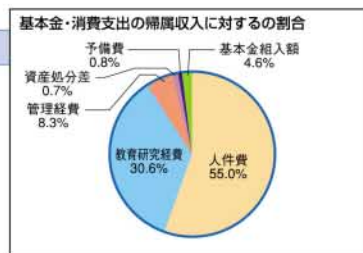
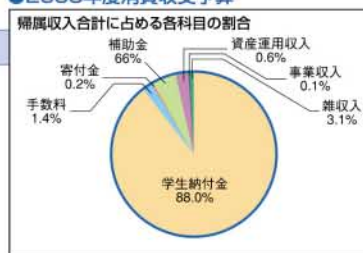
収入の部			支出の部		
科 目	'02年度決算額	'03年度予算額	科 目	'02年度決算額	'03年度予算額
学生納付金収入	4,918,586	4,607,674	人件費支出	2,927,757	2,865,184
手数料収入	78,302	74,910	教育研究経費支出	1,289,654	1,277,824
寄付金収入	8,797	10,000	管理経費支出	338,659	395,460
補助金収入	392,307	345,500	借入金等利息支出	0	0
資産運用収入	48,415	29,342	借入金等返済支出	0	0
資産売却収入	0	5,000	施設関係支出	13,061	24,688
事業収入	18,852	6,360	設備関係支出	70,168	60,671
雑収入	192,633	160,256	資産運用支出	925,235	594,830
借入金等収入	0	0	その他の支出	342,658	439,278
前受金収入	899,147	832,350	予備費支出	0	70,000
その他の収入	155,768	210,040	資金支出調整勘定	△383,815	△409,883
資金収入調整勘定	△1,121,631	△1,053,403	次年度繰越支払資金	3,686,184	3,596,161
前年度繰越支払資金	3,618,385	3,686,184			
収入の部合計	9,209,561	8,914,213	支出の部合計	9,209,564	8,914,213

●消費収支計算書

(単位：千円)

消費収入の部			消費支出の部		
科 目	'02年度決算額	'03年度予算額	科 目	'02年度決算額	'03年度予算額
学生納付金	4,918,586	4,607,674	人件費	3,241,737	2,877,773
手数料	78,302	74,910	教育研究経費	1,603,950	1,599,494
寄付金	20,378	10,000	管理経費	375,858	435,665
補助金	392,307	345,500	借入金等利息	0	0
資産運用収入	48,415	29,342	資産処分差額	1,558	34,201
資産売却差額	0	0	予備費	0	50,000
事業収入	18,852	6,360	消費支出の部合計	5,223,103	4,997,133
雑収入	210,620	160,256	当年度消費収入超過額	137,775	5,588
帰属収入合計	5,687,460	5,234,042	前年度繰越消費支出超過額	△99,630	△38,145
基本金組入額合計	△326,582	△242,498	翌年度繰越消費収支差額	△38,145	32,557
消費収入の部合計	5,360,878	4,991,544			

●2003年度消費収支予算



●貸借対照表

(2003年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	本年度末	前年度末	増減	科 目	本年度末	前年度末	増減
資産の部				負債の部			
固定資産	16,088,170	15,441,491	646,679	固定負債	1,236,328	922,349	△313,979
土地	1,977,435	1,977,435	0	長期借入金	0	0	0
建物	4,063,301	4,286,272	△222,971	学校債	0	0	0
構築物	575,296	623,678	△48,382	退職給付引当金	1,236,328	922,349	313,979
機器備品	225,515	241,443	△15,928	流動負債	1,338,425	1,309,366	29,059
図書	1,899,776	1,852,350	47,426	短期借入金	0	0	0
車両	936	1,337	△401	未払金	374,852	246,619	128,233
建設仮勘定	0	0	0	その他の流動負債	963,573	1,062,747	△99,174
その他の固定資産	7,345,911	6,458,976	886,935	負債の部合計	2,574,753	2,231,715	△343,038
流動資産	3,841,107	3,680,391	160,716	基本金の部			
預貯金	3,686,184	3,618,385	67,799	第1号基本金	13,229,884	13,128,792	101,092
その他の流動資産	154,932	62,006	92,926	第2号基本金	3,057,495	2,816,295	241,200
				第3号基本金	650,000	665,710	△15,710
				第4号基本金	379,000	379,000	0
				基本金の部合計	17,316,379	16,989,797	326,582
				消費収支差額の部			
				翌年度繰越消費支出超過額	38,145	△99,630	137,775
				消費収支差額の部合計	38,145	△99,630	137,775
				負債の部・基本金の部及び消費収支差額の部合計	19,929,277	19,121,882	807,395
資産の部合計	19,929,277	19,121,882	807,395				

2002年度決算財務比率

●消費収支計算書関係財務比率推移

No.	比率名	算式	'98年度	'99年度	'00年度	'01年度	'02年度	私大平均	財務比率の意味
1	学生納付金比率	学生納付金 帰属収入	85.7	87.5	86.2	88.1	86.5	74.5	学生納付金は帰属収入のなかで最大の比重を占めるものであり、各学校法人の自力財源の確保という意味では、高水準で安定的に推移するのが好ましい。
2	基本金組入率	基本金組入額 帰属収入	16.5	14.4	17.2	12.0	5.7	16.0	大学の諸活動に不可欠な資産充実のためには、基本金組入額が大ききまたこの比率が高いことが望ましい。自己資金充実のためには、この比率が高いほど好ましい。
3	人件費比率	人件費 帰属収入	51.3	49.1	49.7	48.7	57.0	51.7	人件費の帰属収入に対する割合を示す比率。人件費は消費支出のうち最大の部分を占めており、この比重が高いと消費支出全体を膨張させ、支出超過を招く場合もある。低いほど好ましい。
4	教育研究経費比率	教育研究経費 帰属収入	23.8	24.2	28.9	27.6	28.2	25.6	教育研究経費の帰属収入に対する割合である。教育研究活動の維持・発展のためには、消費支出を圧迫しない限りこの比率は、高いほど好ましい。
5	管理経費比率	管理経費 帰属収入	8.7	8.6	5.0	5.0	6.6	7.5	管理経費は教育研究活動に支出された以外の経費である。学校法人の運営のため、ある程度の比率は必要だが、低いほど好ましい。

●貸借対照表関係財務比率推移

No.	比率名	算式	'98年度	'99年度	'00年度	'01年度	'02年度	私大平均	財務比率の意味
1	固定資産構成比率	固定資産 総資産	81.6	81.0	81.6	80.8	80.7	82.5	有形固定資産とその他の固定資産を合計した固定資産の総資産に占める構成割合である。この比率は、流動資産構成比率とともに資産構成のバランスを全体的に見るための指標となる。資産構成の割合は、各学校法人毎に多様であるため、固定資産の内訳科目毎に分析する必要がある。低い値が良い。
2	固定負債構成比率	固定負債 総資産	9.3	8.0	5.1	4.8	6.2	8.6	負債構成のバランス及びそれぞれの比重を評価する指標。固定負債の内容は、長期借入金、学校債、退職給付引当金等であり長期に亘って、償還又は支払いを要する債務である。高い値は、好ましくない。
3	自己資金構成比率	自己資金 総資金	80.7	82.6	86.3	88.3	87.1	84.9	基本金と消費収支差額を合計した自己資金の総資産に占める構成割合である。この比率は、高いほど財政的に安定しており、50%を割ると他人資金が自己資金を上回っていることを示している。高い値が良い。
4	固定比率	固定資産 自己資金	101.0	98.1	94.5	91.4	92.7	97.2	固定資産がどの程度自己資金で賄われているかを判定する指標。100%未満であれば、固定資産は自己資金で賄われており望ましいが、100%以上であれば他人資金にも依存していることを示す。低い値が良い。
5	負債比率	総負債 自己資金	23.8	21.1	15.8	13.2	14.8	17.8	他人資金である負債総額が自己資金を上回っていないかを見る指標で、100%以下で、低い値ほど望ましい。
6	流動比率	流動資産 流動負債	185.6	201.8	214.6	281.1	287.0	269.7	短期的に支払を迫られる流動負債に対し、現金預金又は、短期的に現金化することのできる資産の割合がどの程度かという資金流動性即ち支払能力を判定する指標。150%～200%以上が望ましい。
7	総負債比率	総負債 総資産	19.3	17.4	13.7	11.7	12.9	15.1	総資産に対する他人資金の比重を評価する関係比率である。この比率は低いほど良く、50%を超えると負債総額が自己資金を上回っていることとなり、さらに100%を超えると負債総額が資金総額を上回る状態、いわゆる債務超過となる。

(注) 1.他大学平均とは日本私学事業団「平成14年度今日の私学財政」の大学法人(医歯系法人を除く)の平均値 2.総資金＝負債＋基本金＋消費収支差額 3.自己資金＝基本金＋消費収支差額

AO(体験入学等による)入学試験



2004年度AO入試における体験入学を8月22日(金)～25日(月)の4日間実施しました。本学のAO入試は今年で5年目を迎えますが、一般入試、推薦入試につぐ入学試験として位置づけられつつあります。さて、本学の2004年度AO入試(体験入学)の状況ですが、募集人員は全学部で140名のところ、258名の申し込みがありました。

学部	学科	申込者	進学者
経済	経済	101	76
	政策		
商	商	89	70
	情報BC		
外国語	英米語	52	40
	中国語	16	12
合 計		258	198

情報BCは情報ビジネスコミュニケーション学科

第39回大学祭 テーマは「さんきゅ」

第39回大学祭「大学祭実行委員長・前田和也さん(外国語学部3年)」が11月1日(土)から3日まで(月・祝)まで開催されます。今年のテーマは「さんきゅ」です。昨年に引き続いての「愛知万博」企画のほか、盛りだくさんの行事が企画されています。

紅葉のきれいなキャンパスで若者のエネルギーが爆発する「名古屋学院大学大学祭」にぜひお越しください。

11月1日(土)	スポーツ大会
11月2日(日)	オープニング
↓ 各クラブ企画、発表・教室展示	
11月3日(月)	愛知万博の陶板作り アーケード企画・模擬店 スタンブラー フリーマーケット トークライブ「ちえきな」(11/2) 鳴子踊り こまいぬ座(11/3) モ/マネライブ【コージ・富田】(11/3) 後夜祭(11/3)

オープンキャンパス

オープンキャンパスを7月20日(日)と8月20日(水)の2回開催しました。参加者は1回目(日)が346名、2回目(水)が374名で合計720名となり、昨年度を上回るにぎわいでした。学部・学科ごとの模擬授業、相談コーナーを開催しましたが、今年は模擬授業への参加者が多く、2日間で200名以上の参加者を集めました。また、8月20日には畑山隆則さんのトークライブ

を実施。畑山さんは元プロボクシング世界チャンピオンで、現役の大学生でもあります。「夢を追いかけている時は、苦しいとは思わない。皆さんも、残りの受験勉強を頑張ろう。」とメッセージを送り、トークライブに詰めかけた200名は世界の頂点に立った畑山さんの話に聞き入っていました。

2003年度 父母会総会開催

2003年度父母会総会は6月28日(土)午前11時から本学希望館第3会議室にて開催されました。当日は梅雨にもかかわらず、156名のご父母に出席をいただき、予算・決算および役員改選が承認されました。また、2003年度父母会卒業記念事業について、2003年・2004年度卒業記念事業を合わせ、来年度、本学創立40周年記念事業として行うことを決定しました。総会では学長、学部長から大学の現況や各学部の教育方針についての報告があり、総会終了後の懇談会では学生部長、教務部長などの大学関係者との懇談を通じて大学への理解を深めていただきました。

2003年度父母会役員紹介

役職	氏名	学部	学年
会長	田口利寿	経済	2年
副会長	伊藤哲夫	経済	4年
副会長	浅井達雄	外国語	3年
副会長	周防仁海	経済	3年
会計	加藤諒朗	経済	4年
監事	舟橋幸正	外国語	4年
監事	西村泰則	商	2年
委員	塩山勝明	商	4年
委員	加藤孝雄	外国語	4年
委員	村松英幸	商	3年
委員	下村直己	経済	3年
委員	高木基充	経済	2年
委員	若尾和芳	外国語	2年
委員	河本浩詞	商	1年
委員	水谷新左衛門	経済	1年
委員	岩田正男	商	1年
顧問	持田辰郎	学長	

開催日	会場(参加者)
8月30日(土)	岡山会場(23名)
	浜松会場(87名)
	松本会場(21名)
9月13日(土)	金沢会場(33名)
	津会場(32名)
	岐阜会場(43名)
9月27日(土)	大会会場(376名)



2003年度父母懇談会
今年度の父母懇談会を、地方6会場と大会会場で開催し、無事終了いたしました。
懇談会ではご父母のみな様と本学教職員が、膝を交えて学生のみなさんの学習状況や学生生活および就職状況について話し合いをさせていただきました。

伊藤信義理事長が就任

学校法人名古屋学院大学は2003年8月3日理事会を開催し、内山道明理事長の後任に、伊藤信義理事長(70)を体育経営学

IIを選任しました。伊藤新理事長は、学校法人名古屋学院理事長も兼務されます。任期は2006年8月までの3年間となっています。新しい役員は次のとおりです。

役職	氏名
理事長	伊藤信義
常任理事 学長	持田辰郎
常任理事 事務局長	玉木武義
常任理事	飯田重美
常任理事	荻原 隆
常任理事	小嶋 博
常任理事	清水 勲
常任理事	清水克正
理事	占部憲一
理事	大石清夫
理事	大久保友博
理事	小栗七生
理事	加藤陽一
理事	木船久雄
理事	高橋 潤
監事	加藤和良
監事	水野 純

留学生別科に外国人学生25名が入学

留学生別科秋学期の入学式が9月16日(火)午前10時30分からチャペルで挙行されました。今回は25名の留学生がアメリカ、カナダ、オーストラリア、韓国、中国、インドネシア、フランスから入学しました。この内、19名は海外の協定大学からの交換留学生となっています。

留学生達はこれから二年間本学で日本語・日本事情について学びます。また、ほとんどの留学生はキャンパス内の国際セミナーハウスで生活することになります。学生のみなさんとの交流を希望していますので、キャンパスで見かけましたら声をかけてください。

2003年 10月~2004年 3月 行事予定

10月

21日(火) 秋の留学フェア→10月23日(木)まで
26日(日) 大学院 通信教育課程第Ⅰ期入試英語学専攻
29日(水) 留学生別科フィールドトリップ(白川郷・金沢)→31日(金)まで

11月

1日(土) 第39回大学祭「さんきゅ〜」[本学]→3日(月)まで
3日(月) 陶芸館まつり(大学祭協賛)[陶芸館]
在学生による大学説明会(名学大祭企画)
7日(金) シティ・カレッジ2003
《社会講座「女性のための生活経済学」》
[さかえサテライト]
〈講師:小林甲一教授・吉田博之助教授・庵原孝文大学院客員教授〉
→28日(金)まで毎金曜日全4回
15日(土) 推薦入試(一般・スポーツ)[本学]
16日(日) 推薦入試(一般・指定校)[本学]
17日(月) ドイツ語講演会
26日(水) スピーチコンテスト(英語・中国語)

12月

3日(水) 学生大会(栄光館)
4日(木) 手話公開講演会
19日(金) 留学生別科修了式
20日(土) 大学院通信制スクーリング→12月21日(日)まで
25日(木) 市民クリスマス礼拝・キリスト降誕祭(チャペル)

秋季献血運動
体育会・文化会リーダーズ研修会
学生部長表彰
クリスマスチャペル(チャペル)

2004 1月

14日(水) シティ・カレッジ2003
《社会講座「暮らしに役立つ法律ガイド」》
[さかえサテライト]〈講師:山田希講師〉
→2月4日(水)まで毎水曜日全4回
19日(月) 秋学期定期試験→1月30日(金)まで

2月

1日(日) 一般入試(前期)→2月4日(水)まで
7日(土) 大学院 修士課程第Ⅱ期入試
経済学専攻・英語学専攻・中国語学専攻
14日(土) 大学院 博士前期課程第Ⅱ期入試
経営政策専攻
15日(日) 大学院 通信教育課程第Ⅱ期入試
英語学専攻
27日(金) 大学院 博士後期課程入試 経営政策専攻
一般入試(後期)

3月

15日(月) 学位記授与式・修了式(栄光館)

レベルの高い高校生英語スピーチコンテスト

本学が主催する「第6回高校生英語スピーチコンテスト」は、10月5日(日)本学さかえサテライトで開催されました。今年の応募者は22名でしたが、遠く群馬、京都や神戸などからの応募がありました。コンテストに出場した19名みなさんのスピーチはいずれもレベルが高く、審査員との質疑応



答にはきはきと答えていました。入賞者のみなさんは次のとおりで、表彰状と副賞の図書券が授与されました。

特別優秀賞	原田菜々	Christian Vocational College	1年
	岡崎里美	春日井東高等学校	2年
	村瀬加奈子	千種高等学校	2年
優秀賞	小澤あい子	高崎東高等学校	2年
佳作	松井弥弥奈	光ヶ丘女子高等学校	1年
	吉松亜侑美	神戸女学院高等学校	1年
	原口侑子	小笠高等学校	3年
	鈴木里英	聖霊高等学校	3年
	小栗三佳	土岐紅陵高等学校	3年

最優秀賞、優秀賞受賞者は、本学外国人留学生が引率するUSJユニバーサルスタジオジャパン、10月19日実施へ招待されることになっています。



表紙写真／名古屋学院大学全景

緑に囲まれた品野台キャンパスに移転後(1968年)、
本学は学生のみさんの学習環境を守るキャンパス
づくりを行っています。